

## 30周年を迎えた「JFN賞2016」各賞決定！

### ■企画部門大賞

TOKYO FM・FM 仙台「Date fm(FM 仙台)・TOKYO FM 共同制作  
ライターをつぶやき～河北新報の5年～」  
2016年3月6日(日)19:00～19:55 放送

### ■CM部門大賞

FM北海道「LOVE SNOW HOKKAIDO『雪の音』」(50秒)

### ■CM統一部門 日産自動車賞

広島FM「回転寿司」(60秒)

### ■JFN学生ラジオCMコンテスト2016 最優秀賞

中里 玲奈さん(淑徳大学/20秒)

TOKYO FMをはじめ全国 FM 放送協議会 (JFN 会長：富木田道臣) 加盟 38 社が、放送活動並びに新規事業の活性化とクオリティ向上を目指し、社会的影響力や企画力等、JFN グループ全体の発展に大きく貢献した事績を表彰する「JFN 賞 2016」の各賞が決定し、7月21日(木)に TOKYO FM ホールにて表彰式が行われました。

今回の「JFN 賞2016」は、1987年にスタートした JFN 賞の前身「CM フェスティバル」から数えて30回目の節目に当たり、表彰式に先立ち、過去30年間の CM 大賞受賞作品を振り返りながら、今後のラジオ CM の在るべき姿を探る「記念シンポジウム」が、特別審査員長の弘兼憲史氏、特別審査員の谷山雅計氏、箭内道彦氏のパネリスト3名と、モデレーターを務めた TOKYO FM 営業局専任局長の林屋創一氏により行われました。

受賞作品は、まず「企画部門」大賞には、TOKYO FM・FM 仙台「『Date fm (FM 仙台)・TOKYO FM 共同制作ライターをつぶやき～河北新報の5年～』 2016年3月6日(日) 19:00～19:55 放送」が選ばれました。優秀賞には、FM 北海道「北海道と東北を繋ぐ三つの『北海道新幹線開業記念番組』」、FM 愛知「ユニリーバ CLEAR ブランド 女性用シャンプー訴求キャンペーン」、FM 滋賀「ラジオのエンターテインメント力で商店街を活性化『笑顔がいっぱい商店街キャンペーン』」がそれぞれ選ばれました。

次に、「CM 部門」の最優秀作品に贈られる「CM 大賞」には、FM 北海道制作の「LOVE SNOW HOKKAIDO『雪の音』」(50秒)、第1部門最優秀賞(20秒以内)には、FM 岡山制作の「ネットヨタ岡山『いまから帰ります』」(20秒)、第2部門最優秀賞(21秒以上)には TOKYO FM の「父の視点」(95秒)がそれぞれ選ばれました。

また、JFN 加盟各社が制作し、優秀作を決する「統一部門賞」では、今回は日産自動車株式会社の協賛を得、「日産自動車賞」を競い、広島 FM の「回転寿司」(60秒)が選出されました。

特別審査員独自の視点から高い評価を認められた作品に対して贈られる弘兼憲史賞、谷山雅計賞、箭内道彦賞には、FM 熊本制作の「家族の秘密」(20 秒)、FM 山口制作の「今日のお寺の掲示板『大きな声は聞こえるが』」(20 秒)、FM 熊本制作の「それもまた」(20 秒)がそれぞれ選ばれました。

全国の学生が、自身の学校を PR するラジオ CM コピーを競う「JFN 学生ラジオ CM コンテスト 2016」は 5 回目を迎え、淑徳大学の中里玲奈さんが最優秀賞を、東北芸術工科大学の奥稔里さん、岡山商科大学の東森郁弥さんがそれぞれ優秀賞を受賞しました。

今回の「JFN 賞 2016」について、特別審査員長の弘兼憲史氏は、「私は色々な企業から「漫画で説明してください」と依頼を受けますが、その際、企業の方々は“これだけは入れてほしい”という情報を沢山持ってきます。それでは吹き出しばかりで漫画が入らなくなってしまうので、そういう時には「読みやすくするために省きます。骨子の部分だけにしたら、皆さんが読んでくれますよ」と説得しています。ラジオ CM も同じで、スポンサーからの要望はあると思いますが、「わかりやすくするために省きます」と言う勇気を持って、クリエイティブな CM を作って頂きたいと思います。」と述べました。

自身で選出した弘兼憲史賞受賞作品、FM 熊本制作の「家族の秘密」(20 秒/松下仏壇店)については、「仏壇の CM というのは、ある意味とても難しいと思います。昔は仏壇はその家の中心に置かれていましたが、昨今は手を合わせることもなくそのままにしてあるという家庭も増えています。その中で子どもが仏壇の掃除をしたらお母さんのヘソクリ、お父さんの宝くじを見つけ、だから僕もテストを隠すという内容は、仏壇を中心に家族がまとまっておりハートウォーミングな作品に仕上がったと思います。」と述べました。

特別審査員の谷山雅計氏は、「今回のグランプリに選ばれた FM 北海道制作「LOVE SNOW HOKKAIDO 『雪の音』」というのは、ストーリーとしての完成度ではなく、リアルな雪の音を比較して「行ってみたいな」と思わせるものを表現していました。その年その年の傾向があるわけではないのですが、今年に関してはリアルの力というものを評価したいなと個人的に思いました。」と述べました。

自身で選出した谷山雅計賞受賞作品、FM 山口制作「今日のお寺の掲示板『大きな声は聞こえるが』」(20 秒/西本願寺 山口教区山口教務所)に関しては、「この CM については、独特な存在感がすごく良いと思いました。これは CM というよりも、お寺さんが皆さんを教え導くようなことをメディアを変えてラジオで行っているということで、その在り方が新しいなと思いました。こういうこともラジオでできるということを感じさせてくれたという意味においては、とても高く評価したいと思います。」と評しました。

同じく特別審査員の箭内道彦氏は、「JFN 賞というのは「1 人じゃないよ」ということを確認する場だなあと感じていつも見えています。頑張っているのは自分だけじゃないんだ。大変なもの自分たちだけじゃない。ラジオが好きなのも自分たちだけじゃない。「切磋琢磨」という言葉が、相手を倒したり否定したりすることではなく、みんなで幸せになっていく。そういう場なので、とっても大好きな審査会です。もし来年も呼んでいただけたらいいなと。また皆さんがこの 1 年で作って来られる成果を味わわせていただくことを楽しみにしています。」と述べました。

自身で選出した箭内道彦賞受賞作品 FM 熊本制作「それもまた」(20 秒/味千拉麵)については、「この CM は、とても良い作品だったと思います。4 月 14 日、16 日に大きな地震があって、ラジオが持つ力を実感していらっしゃるエフエム熊本さんにエールを送りたいという気持ちも込めて選ばせていただきました。」と述べました。

各賞の結果は次の通りです。

## ◎JFN 賞・企画部門

「JFN 賞・企画部門」は、加盟各局がエントリーした放送・事業・営業活動事例の中から、JFN 各委員会委員長から成る「JFN 賞選考委員会」にて選定されました。今年の審査対象は、2015 年 6 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日までの間、JFN 加盟各局が活動した作品です。今年は、エントリー 22 社 41 件の中から、以下の各賞が決定しました。

## ■大賞

**TOKYO FM・FM仙台／「Date fm (FM仙台)・TOKYO FM 共同制作  
ライターをつぶやき～河北新報の5年～」  
2016年3月6日(日) 19:00～19:55 放送**

東日本大震災から5年。ラジオは震災を生き延びた人々の声を伝え続けてきたが、2万人近い犠牲者の方が語ることができるなら、何を伝えたいだろうか？という想いから生まれたラジオドラマ。震災から5年目を迎える成人の日に、宮城県女川で新聞販売店を営む男のもとに、男が無くしたと思っていたライターを謎の少女が現れ手渡し、誰にも言えない秘密を打ち明ける。成人の日に起きた、たった1日の奇跡の物語を、心に沁みるラジオドラマで描いた。

(番組部門申請)

## ■優秀賞

**FM北海道／北海道と東北を繋ぐ三つの「北海道新幹線開業記念番組」**

今年3月、北海道から九州まで新幹線で繋がりひとつになった。新幹線開業は人々の行動に大きな影響を及ぼし、経済効果への期待だけでなく、日本の距離を縮めて生活圏となる。食・地名・言葉を取り上げ、歴史的共通点や文化的相違を見出すことで、東北・北海道の魅力を伝え、大きな反響を得る放送となった。

(番組部門申請)

## ■優秀賞

**FM愛知／ユニリーバ CLEAR ブランド 女性用シャンプー訴求キャンペーン**

自局で番組を持つご当地アイドルグループのノベルティグッズプレゼントキャンペーンを特定流通(ドラッグストア)とタイアップして店頭で展開。商品購入・応募促進に向けて、アイドル自身がキャンペーン時に稼働し、流通店舗より中継を行った。さらにスポットCMや番組サイトも連動させてメディアミックス展開を図り、全ての関係者がWin-Winの仕掛けで成功をおさめる企画であった。

(営業部門申請)

## ■優秀賞

**FM滋賀／ラジオのエンターテインメント力で商店街を活性化**

**『笑顔がいっぱい商店街キャンペーン』**

滋賀県が実施したプロポーザル「商店街魅力発掘・発信事業」を受託。高齢化が進み、暗いイメージという商店街に対して、県内の商店街を徹底取材して、ベテランDJや地元出身芸人を起用することで、常に笑いを伴う明るい商店街と人の魅力を紹介する番組を演出した。イベントでは地元学生によるものづくり教室、幼稚園から高校生までのブラスバンドなど、地域参加型の内容を盛り込んだ。また、イベントの最後は、事業のテーマソングを制作し皆で感動の大合唱を行うなど、地域密着のラジオができる限りの企画を実施した。

(営業部門申請)

## ■奨励賞

**FM香川／太平洋戦争と三豊～埋もれゆく記憶を今、語り継ぐ**

太平洋戦争時、香川県三豊市には、国内でも重要な海軍航空隊の基地がひとつあり、そこから57名もの若者達が特攻に出撃した。託問海軍航空隊や神風特攻隊の関係者・遺族の証言を丁寧に集め、その記憶を次世代へ語り継ぐための特別番組を放送。リアルな証言とともに、特攻に飛び立つ若者の心情をラジオドラマ風に表現し、埋もれゆく記憶を終戦から70年たった今、改めて語り継ぐ内容となった。

(番組部門申請)

## ■奨励賞

**FM長崎／被爆70年 sing for tomorrow ～ストレイテナーとつないだ夏～**

被爆から70年の長崎。地元出身バンド「ストレイテナー」とともに、先人が繋いできた怒りではない“平和を祈る思い”を「NO～命の跡に咲いた花～」の曲にのせて若い世代に語り歌い継ぐ。地元高校では平和学習の一環としてメンバーと楽曲を合唱し、イベントでは今ここで音楽を楽しむ

むことが出来る喜びを考え、争いのない平和な世界を祈りながらの大合唱となった。

(番組部門申請)

#### ■特別賞

##### TOKYO FM /SCHOOL OF LOCK! ×総務省 選挙権年齢が18歳以上に

2016年6月以降の法改正により、選挙権年齢が18歳以上になることを10代に深く啓発することを目的に、SOLと総務省がコラボして、番組や全国でのイベントキャラバンの企画を実施した。選挙の仕組み、政治に参加する事の意味や考え方等について47都道府県で30名規模から300名規模で行ったイベントは、JFN各局の地元でのシンポジウム展開をベースとしたネットワークの機動力を駆使した提案により実現できた。

(営業部門申請)

#### ■地域賞

##### FM新潟/～キャリア教育推進事業・オンリーワンスクール

###### 新潟未来プロジェクト～おぢやしごと未来塾

小千谷市が「地方活性化・地域住民生活等緊急支援交付金事業」予算で市内各企業、高校と連携し、中学生を対象に地元の産業や企業を理解するために企画したものを、JFN全体の営業テーマである「自治体の公的予算獲得」で実現した事例。地域情報番組と親しみのあるパーソナリティが連動することで、収益のみならず、若年層リスナーの拡大という一挙両得の展開となった。JFN各局でも各自治体にセールス出来る有効的な成功事例である。

(営業部門申請)

#### ■地域賞

##### FM三重/地域と共に創る電気自動車等を活用した低炭素社会モデル事業～

###### おかげさま Action! ～FM三重×伊勢市低炭素社会創造協議会

伊勢志摩サミットが開催された国内有数の環境の聖地・伊勢で、電気自動車の普及活動を行う「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」(おかげさま ACTION!)とFM三重がタイアップ。県内外から訪れる年間1000万人の観光客に向けて、環境省の方を迎えた公開生放送や協議会との共同運営スタンプラリーなどに取り組んだ。アンケートでも高い評価を得られ、環境省が進めるメディアと民間団体の広報支援事業としても認められた。

(営業部門申請)

#### ■地域賞

##### FM山陰/島根県自死予防普及啓発事業 こころのうたキャンペーン

全国で問題になっている若者の自死予防に対する正しい理解と「気付くこと」の大切さを考える企画である。平成22年、内閣府の地域自殺対策緊急強化基金をもとに、島根県に自死予防啓発事業として採用されて以来、島根県のモデル事業として6年間継続している。平成27年度は若年層対象の10代限定のキャンペーンとして展開し、スポットCM・WEB・ポスターに加え、過去受賞作品の書籍化や、現役高校生を交えた特別番組を放送するなど、多面的な企画として成功した。

(営業部門申請)

#### ■地域賞

##### FM山口/新ご当地アイドル創出企画「アイ☆たん」

###### ～オレンジ☆みるふい～ゆ 誕生 (CDデビュー)

開局30周年記念のビッグプロジェクトとして展開した企画。地元の運営事務局と共同立案し、10代の県内在住女子を対象にした一般公募・オーディションでの100名近い応募者の中から5名を選抜し、「オレンジ☆みるふい～ゆ」が誕生した。開局記念日に1stシングルを発売、レギュラー番組も編成し、10代の女子達からラジオの魅力を発信している。また、地元の菓子メーカーともコラボして新作スイーツ(オレンジ・ミルフィーユ)を開発し発売中。ラジオ局ならではの音楽・エンタメによる地域貢献により、地元イベントなどの活性化を図った。

(営業部門申請)

## ■地域賞

### FM 佐賀／FM 佐賀特別番組「Beauty in SAGA ～佐賀の美しさに出会う旅～」

2016年に有田焼創業400年を迎えるにあたり、有田焼の美の神髄、有田焼を育んだ佐賀の美の世界を紐解いていく特別番組。ナビゲーターに、有田焼の当祖・李三平の末裔で、美の世界に生きる2010年度ミス・インターナショナル日本代表の金ヶ江悦子氏と、美しい音色を奏でる唐津市出身の篠笛奏者、佐藤和哉氏を起用し、佐賀の街を旅しながら各所のインタビュー収録を行った。  
(番組部門申請)

## ◎JFN賞・CM部門

JFN加盟38社のCM制作力の向上と、CMを通じて地域社会の文化に貢献する事を目的として優秀CM作品を表彰するのが「JFN賞・CM部門」です。今年の審査対象は、2015年6月1日から2016年3月31日までの間、JFN加盟各局が自社で企画または制作、放送したCMです。斬新な発想や演出と技法、地域性、公共性、影響力(CM効果)が審査基準となります。今年は、エントリー総数120本の中から、特別審査員長の弘兼憲史氏(漫画家)、特別審査員の谷山雅計氏(コピーライター)、箭内道彦氏(クリエイティブディレクター)をはじめ、企業審査員、JFN各社のCM制作担当者38名による「公開審査会」で、以下の各賞が決定しました。

### 【JFN CM大賞】

FM 北海道 「LOVE SNOW HOKKAIDO 『雪の音』」(北海道索道協会／50秒)

### 【第1部門 最優秀賞】※20秒以内(エントリー数=60本)

FM 岡山 「ネットヨタ岡山『いまから帰ります』」(ネットヨタ岡山株／20秒)

### 【第2部門 最優秀賞】※21秒以上(エントリー数=22本)

TOKYO FM 「父の視点」(日本生命保険相互会社／95秒)

### 【統一部門 日産自動車賞】 エントリー数 60秒=38社38本

広島 FM 「回転寿司」(日産自動車株式会社／60秒)

### 【JFN学生ラジオCMコンテスト2016】

最優秀賞 中里 玲奈さん(淑徳大学／20秒)

優秀賞 奥 稔里さん(東北芸術工科大学／40秒)

優秀賞 東森 郁弥さん(岡山商科大学／20秒)

### 【奨励賞】

#### ○地域ブロック賞

##### ・北海道・東北

FM 仙台 「マナーアップキャンペーン エスカレーター」(仙台市交通局／20秒)

##### ・関東・甲信越・静岡

K-mix 「徹底的に」(株ラビアンローゼ／20秒)

##### ・中部・北陸

FM 福井 「東京へは福井の空の玄関口小松空港から アラサー女子」(日本航空株／40秒)

##### ・近畿・中国・四国

Kiss FM KOBE 「兵庫県警 Kiss FM KOBE 振り込め詐欺防止キャンペーン  
40秒啓発スポット CM 架空請求詐欺」(兵庫県警察／40秒)

##### ・九州・沖縄

FM 鹿児島 「私の悩み」(さつま無双株／60秒)

### 【制作者審査員賞】

TOKYO FM 「父の視点」(日本生命保険相互会社／95秒)

### 【弘兼憲史賞】

FM 熊本 「家族の秘密」(松下仏壇店／20秒)

**【谷山雅計賞】**

FM 山口 「今日のお寺の掲示板『大きな声は聞こえるが』」  
(西本願寺 山口教区山口教務所／20 秒)

**【箭内道彦賞】**

FM 熊本 「それもまた」(味千拉麵／20 秒)

※お問い合わせ：全国 FM 放送協議会 (JFN) 事務局 伊達木／吉垣内 (TEL 03-3221-0246)  
TOKYO FM 編成制作局 編成制作部 中村／田中 (TEL 03-3221-0080)